

## 総務文教常任委員会

委員長 久夫 野澤  
副委員長 三千夫 黒澤  
委員 夫安秋 保照 昭千 大久井 昭千 新賀 加賀 松岡 大嶋 関口 弥生

熊谷市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について

**問** 社会教育委員の選出はどのような構成になっているか伺いたい。

**答** 社会教育法で定められた基準により、校長会、自治会連合会、婦人会、民生委員、文化連合、体育協会、公民館、PTA、子供会、それと知識経験者ということで市議会議員等の選出により構成している。  
(所管課・社会教育課)

熊谷市消防関係事務手数料徴収条例の一部を改正する条例について

**問** 特定屋外タンク貯蔵所とはどのような施設が該当するか伺いたい。

**答** 屋外に設けた、危険物の貯蔵最大数量が千キロリットル以上のタンクで、工場等でポイラーや炉などの燃料を消費するために貯蔵する施設である。  
(所管課・予防課)

熊谷市消防長及び消防署長の資格を定める条例について

**問** これまで消防関係でない職員で消防長となった例はあるか伺いたい。

**答** 新市になった平成19年2月から現在までの7年間で消防長として行政局部から異動した職員は2名である。  
(所管課・消防総務課)

平成26年度熊谷市一般会計予算(教育費)について

**問** 学力日本一を目指すという形の中で学力向上補助員を増やすということ、どのような効果が発生するのかについて伺いたい。

**答** 授業の充実と個別の支援を行うというところで学力の向上が図れると捉えている。クラスの中には特別な支援が必要な子供もおり、補助員が支援を行うことで、どこにつまずいているか分かるような、きめ細やかな授業が行え、学力向上のために効果があると考えている。  
(所管課・学校教育課)

## 環境産業常任委員会

委員長 高広 野閑  
副委員長 幸子 林  
委員 昇修 健 原 磯 本 松 桜 須 杉 市 貢 井 永 田 郎 市 永 延 茂 宣 茂

平成26年度熊谷市一般会計予算(衛生費・商工費・農林水産業費)について

**問** ごみの量の割合として比較的多い剪定した枝を、焼却処分せずに再資源化する事業について詳しく伺いたい。

**答** 公園等の公共施設から発生する剪定枝は、直接市内のリサイクル業者に搬入、また市民や事業者から出る剪定枝は、市内3カ所(旧妻沼清掃センター、別府農村広場、江南行政センター西側市有地)に設置した仮置き場に搬入してもらい、それをリサイクル業者が回収し、再資源化を行うものである。  
(所管課・廃棄物対策課)

**問** 畜大登録等実施事業について、案内を何通出し、どのくらいが予防注射にきているのか伺いたい。

**答** 平成23年度の登録頭数が1万2,638頭、24年度の登録が1万2,366頭、この頭数に対して、狂犬病予防注射の案内通知を出しており、予防注射の接種率は平成23年度が67・7%、24年度が67・3%となっている。  
(所管課・環境衛生課)

**問** 企業誘致推進事業について、現在までに条例の指定を受けた製造業30社の内訳で、市外から市内へ転入してきた企業は何社なのか伺いたい。

**答** 市外から市内への移転は、19年度に4社、20年度に1社、21年度に1社、25年度に1社である。  
(所管課・企業活動支援課)

**問** 熊谷市の小麦は、「農林61号」から「さとのそら」に転換し、くまがや小麦の会もPRに乗り出しているようだが、市としてもっとPRをしないのか伺いたい。

**答** この秋に種をまいた小麦の品種は、「農林61号」から90%近く「さとのそら」に変更になった。市民協働事業として、「さとのそら」の消費拡大事業をNPO法人くまがや小麦の会が、主に高校生と一緒に菓子づくりのコラボレーションの企画を出している。そうした製品で、学校の文化祭や産業祭等、また駅の売店コーナーで「さとのそら」を使ったお菓子ができたといったことをPRしていくという事業展開をまずは考えている。  
(所管課・農業振興課)

## 市民福祉常任委員会

委員長 健二 厚  
 副委員長 長 一男  
 委員 池 甚富  
 委員 小 林 恒智  
 委員 小 松 美和  
 委員 加 藤 智一  
 委員 大 山 和一  
 委員 三 浦 一  
 委員 小 林 一

熊谷市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について

**問** 大里第二および第三保育所について、受け入れが何人できるのか、また入所希望者は何人になっているのか伺いたい。

**答** 新年度の入所者は決定しており、大里第二保育所は定員80人のところ53人、大里第三保育所は定員60人のところ30人、合計で83人である。また、統合保育所の開設に合わせ、ゼロ歳、1歳児の入所募集を今後行っていく。(所管課・保育課)

熊谷市敬老祝金条例の一部を改正する条例について

**問** 県内他市の支給状況について伺いたい。

**答** 本市を除く県内39市のうち、77歳の喜寿で25市、88歳の米寿では31市、99歳の白寿では29市、100歳以上は11市で祝金を支給している。(所管課・長寿いきがい課)

平成26年度熊谷市一般会計予算(民生費)について

**問** 安全なまち推進事業について、青パトの所有台数およびどのくらいパトロールを行っているかについて伺いたい。

**答** 本庁舎に2台、各行政センターに1台ずつ、計5台を配備している。また、パトロールの年間の回数は、平成24年度の実績では本庁舎の青パトが358回、行政センターで48回、計406回実施している。(所管課・安心安全課)

**問** 重度障害者居宅改善整備費補助事業の事業内容について伺いたい。

**答** 居宅のバリアフリー等の工事ならびに電動昇降機、ベッドからトイレ等に移乗するリフトの設置等について補助金を交付するものであり、整備費用のうち36万円を上限として、その3分の2の24万円まで交付する制度である。(所管課・障害福祉課)

## 都市建設常任委員会

淳 之  
 委員長 長 忠次  
 副委員長 山田 清正  
 委員 井 井 夫  
 委員 新 井 美  
 委員 新 井 吾  
 委員 新 井 一  
 委員 新 井 一

平成26年度熊谷市一般会計予算(土木費)について

**問** 秩父鉄道の佐谷田地区新駅設置を予定している場所と新駅設置に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

**答** 昨年、熊谷市、行田市、秩父鉄道の3者で新駅設置に関する調査を実施し、新駅設置予定の場所を熊谷市、行田市の行政境、熊谷駅から約3・3キロメートルの地点とした。また、今後のおおむねのスケジュールは、本議案をお認めいただいた後、熊谷市、行田市、秩父鉄道の3者で新駅設置の覚書を結ぶ予定である。また、新年度実施予定の測量設計結果を踏まえ、さらに費用負担等を含めた協議を実施し、協定書を結び、速やかな事業実施を進める。(所管課・都市計画課)

**問** 「暑さ対策」藤のバラソル事業について、藤棚の施設規模と設置場所について伺いたい。

**答** 1カ所当たりの施設規模は、柱の高さが3・5メートル、歩道への張り出し幅が2メートル、歩道の縦断的な長さ方向が4メートル程度である。また、藤棚の設置場所は、熊谷駅前通線の埼玉りそな銀行がある大栄日生熊谷ビルの交差点の南側にそれぞれ1カ所ずつ、駅前広場交差点のみずほ銀行の前に1カ所の計3カ所を予定している。(所管課・道路課)

出し幅が2メートル、歩道の縦断的な長さ方向が4メートル程度である。また、藤棚の設置場所は、熊谷駅前通線の埼玉りそな銀行がある大栄日生熊谷ビルの交差点の南側にそれぞれ1カ所ずつ、駅前広場交差点のみずほ銀行の前に1カ所の計3カ所を予定している。(所管課・道路課)

平成26年度熊谷市下水道特別会計予算について

**問** 歳入の公共下水道事業費負担金は深谷市からの負担金とのことだが、この内容について伺いたい。

**答** 熊谷工業団地は民間の開発行為により分譲された工業団地で、深谷市分の土地が約80ヘクタール含まれている。この深谷市分の汚水は熊谷公共下水道に取り込んで計画がされた経過がある。深谷市からは、熊谷公共下水道に流れ込むこの深谷市分の雨水・汚水について、熊谷市の下水道管渠整備の建設負担金と維持管理負担金をいただいている。(所管課・下水道課)